

- 令和元年の「秋の褒章」で黄綬
- 褒章を受章された池田柏藻(和
- 美)さんにお話を伺いました。

べつこうし
鑿甲士

はくも
池田柏藻(和美)さん



縁の深い奈良・桜井市
でのべつ甲細工作り

貝彫刻職人であった兄の紹介で、16歳からべつ甲細工職人の下で透かし彫りの技術を学び、約10年間の修行を経て地元の桜井市に工房を構えました。

池田工房は、細かな透かし彫りをべつ甲に施す熟練の技術が特徴です。その作品を称する「奈良べつ甲」という名前は、桜井市の上之宮遺跡でべつ甲が出土したことから、地元との深い関わり縁を感じ、名付けました。

常に新しいアイデアを
作品に

お客様との直接のやりとりから新しいヒントを得るため、職人では珍しく、制作から販売まで自身で手掛けています。「自分だけのオリジナルのものがほしい」という女性の声を取り入れたアクセ

サリーは、全国各地の百貨店に足を運び、対話を繰り返し返した結果、生まれました。

べつ甲細工は歴史のある美術工芸品ですが、常に新しいアイデアを取り入れることで、時代に合ったものになります。最近では、正倉院に納められている宝物の絵柄を取り入れたデザインや、貝、琥珀、珊瑚、白檀、カメオなどの素材と組み合わせた作品づくりなど、よりべつ甲に興味を持つ



正倉院柄連珠文様と三弁花の透かしペンダント

ていただけるように新しい挑戦を続けています。

べつ甲細工を次の時代へ

現在、べつ甲細工の材料であるタイマイが入手困難などの理由から、職人が少なくなっています。技術の継承が難しくなるのと同じに、正倉院に納められているべつ甲細工をはじめとする文化財の保存・修復が困難になることが予想されます。そのため、1300年以上の歴史があるべつ甲細工を守るため、親から子へと技術を伝えるとともに、実演販売を通して、べつ甲細工やその技術を知ってもらう活動を続けてきました。

今後も、さらに「奈良べつ甲」を広げていくため、東京を中心に透かし彫りの技法を見ていただく機会を増やしていきたいと思



カメオとべつ甲を
組み合わせた作品

奈良県広報広聴課 ☎0742-27-8326 FAX0742-22-6904